

## 次に、第4の柱

『くらしや交流を支える都市基盤づくり』についてであります。

**中心市街地の整備**につきましては、令和4年度から「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業」に着手し、今年度からは建物移転に取りかかっているところです。新年度には工事と建物移転がピークを迎えることから、各関係者と調整を図りつつ、引き続き、着実に事業を進めてまいります。

**大田市駅通り**につきましては、引き続き、歩車共存道路として整備していくための詳細設計業務を進めてまいります。

**公園整備**につきましては、「公園施設長寿命化計画」に基づき、石見銀山公園清水寺（せいすいじ）前休憩所の改修などを実施してまいります。

**公共下水道などの污水处理施設の整備**につきましては、生活環境の改善や公共用水域の水質保全のため、引き続き、大田処理区内の大田地区及び久手地区において、整備を進めてまいります。

**公共交通**につきましては、運転手の確保や処遇の改善、燃料費の高騰、利用者の減少など、様々な課題を抱えており、県内の一部バス路線が廃止・縮小されるなど、取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。本市といたしましては、6月を目途に「大田市地域公共交通計画」を策定し、市民生活に大きく影響する「公共交通」の維持に向け、国、県や沿線市町はもとより、運行事業者や地域とも連携し、積極的な取り組みを進めてまいります。

**道路整備**につきましては、落石・冠水対策などの防災安全対策工事や、通学路の交通安全施設の改修などを重点的に実施してまいります。

また、令和4年度に策定した「橋梁等長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の改修・

更新などを着実に進め、安全で快適な生活道路の確保に努めてまいります。

**消防・救急**につきましては、火災をはじめとする各種災害や、高齢化などにより増大する救急需要に、迅速かつ的確に対応するため、消防車両や資機材、消防水利の整備に取り組み、消防・救急体制の充実強化に努めてまいります。

**交通安全対策の推進**につきましては、夏までに運転免許高齢者講習施設の建設工事を終え、10月には講習を開始する予定です。

**防災対策**につきましては、能登半島地震を踏まえて、備蓄品の充実を図るとともに、複合災害に柔軟に対応するため、関係機関との連携を強化してまいります。あわせて、自主防災組織の拡充や防災・減災意識の啓発などに取り組み、更なる地域防災力の向上に努めてまいります。

**治水対策**につきましては、豪雨などによる河川氾濫の抑止や河川環境維持のため、堆積土砂などの撤去や支障となる樹木の伐採、除草を行ってまいります。